

---

## 基準 4. 教育内容・方法・成果

### (1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

---

#### 1. 現状説明

(1) 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。

##### 1) 短期大学部全体

本学では、講義や演習だけでなく、社会福祉施設や保育所・幼稚園等における実習教育等、実社会での実践的・体験的な学びを重視している。そのような学びの中で、豊かな人間性、共生（ともいき）の精神、広い学識、進取の精神、福祉あるいは保育・幼児教育全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身につけた人の養成をめざしている。

##### 2) 社会福祉学科

社会福祉学科および各コースの【教育目標】は、以下のとおりである。

###### 社会福祉学科

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①個人の尊厳性、権利の普遍平等性、社会の互恵的連帯性について、科学的に理解し、説明できる。</li><li>②貧困と差別を生む社会構造について、科学的に理解し説明できる。</li><li>③基本的人権と社会権に基づく社会保障の意義を理解し説明できる。</li><li>④身の生活問題を社会問題の脈絡で考察でき、自分の意見（OWN・ビュー）を発表することができる。</li><li>⑤身近からすべての人の権利回復と連帯をつくっていく姿勢をもてる。</li><li>⑥障害の意味、老いの意味、死の意味、生命の繋がりについて洞察する姿勢をもてる。</li><li>⑦知的生産の技術（a.学術論文のルールを踏まえて論述することができる、b.公式の場で論理的かつ明瞭簡潔に意見発表することができる、c.小グループで弁証法的に討論することができる）を身につける。</li></ul> |
|---|

###### 社会福祉コース

社会福祉施設等に就業が可能なケア・生活支援・福祉相談に関する基本知識と実践的技量、および専門職業的価値観と態度を身につける。
--

###### 教養福祉コース

『共生』の精神を理解し、かつ社会に顕在する諸問題に関心を持ち、福祉的諸問題を多面的に捉え考察できる力を身につけるとともに、社会人として求められる基本的な素養と学力を身につける。
--

以上の教育目標に基づき、【学位授与の方針】を以下のとおり策定している。

#### 社会福祉学科

##### 「学生に保証する基本的な資質」

###### (建学の精神)

- 仏教、ことに浄土真宗に基づいた建学の精神、すなわち「平等」「自立」「内省」「感謝」「平和」の意味を深く理解している。
- 豊かな人間性と高い倫理観をそなえ、社会的責務に対する自覚を持っている。

###### (知識・理解)

- 個人の尊厳性、権利の普遍性、社会的互恵的連帯性、貧困と差別を生む社会構造をはじめとした社会福祉についての基礎的な知識を持っている。

###### (思考・判断)

- 身近の生活問題を社会問題の脈絡で考察でき、自分の意見を発表することができる。

###### (興味・関心)

- 個人と社会の福祉の向上について、探究心を持ちそれを具体的な課題にできる。

###### (態度)

- 市民としての社会的責任を自覚し、協調性を持ちつつ、リーダーシップを発揮しながら、身边から他者の権利回復と連帯をつくっていく姿勢を持つことができる。
- 障がいの意味、老いの意味、死の意味、生命の繋がりについて洞察する姿勢を持つことができる。

###### (技能・表現)

- 基本的な社会福祉の援助技術を身につけている。

##### 「学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方法」

- 1) 本学において、2年以上在学し所定の授業科目を履修し、その単位を修得した者に対し、学長は、教授会の議を経て卒業を認定する。
- 2) 学長は、卒業の認定を受けた者に対し、卒業証書及び本学学位規程に定める短期大学士の学位を授与する。
- 3) 卒業認定を受けるためには、「卒業論文」を提出しなければならない。卒業論文提出後に口述試問を実施し、担当教員によってその厳格な評価を行う。
- 4) 社会福祉コース  
卒業時に必要な単位数は68単位とし、その履修方法は授業科目の区分により、学部共通科目の必修科目を8単位、選択科目を6単位以上、学科専攻科目の必修科目を12単位、選択科目を22単位以上、コース専攻科目の必修科目を16単位、選択科目を4単位以上とする。

### 5) 教養福祉コース

卒業時に必要な単位数は 68 単位とし、その履修方法は授業科目の区分により、学部共通科目の必修科目を 8 単位、選択科目を 6 単位以上、学科専攻科目の必修科目を 12 単位、選択科目を 22 単位以上、コース専攻科目の必修科目を 20 単位以上とする。

## 3) こども教育学科

こども教育学科の【教育目標】は、以下のとおりである。

保育・幼児教育の専門職として、こども同士の「共生」を促し、励まし、見守り、支えることができる素養や基礎的な知識を身につける。

以上の教育目標に基づき、【学位授与の方針】を以下のとおり策定している。

「学生に保証する基本的な資質」

(建学の精神)

- 仏教、ことに浄土真宗に基づいた建学の精神、すなわち「平等」「自立」「内省」「感謝」「平和」の意味を深く理解している。
- 豊かな人間性と高い倫理観をそなえ、社会的責務に対する自覚を持っている。

(知識・理解)

- 幅広い学問領域について基礎的な知識を持っている。
- 保育・幼児教育について基礎的な知識を持っている。

(思考・判断)

- 幅広い分野の知識・理解をもとにして、問題に対して多角的な思考、判断を行うことができる。
- 保育・幼児教育の問題や課題について多面的・多角的に考察でき、自分の意見を発表することができる。

(興味・関心)

- 少子社会における保育や幼児教育について、探究心を持ちそれを具体的な課題にできる。

(態度)

- 市民としての社会的責任を自覚し、協調性を持ちつつ、リーダーシップを発揮しながら、子どもの最善の利益を追求していく姿勢を持つことができる。
- 発達の意味、子ども期固有の意義について洞察する姿勢を持つことができる。

(技能・表現)

- 自ら発見した課題を理論的に分析し、自らの考えを文章で表現し、それをプレゼンテーション・ディスカッションできる。
- 外国語による基本的なコミュニケーションができる。
- コンピュータを操作し、情報分析・発信するために基本的なスキルを身につけている。
- 基本的な保育・幼児教育の技術を身につけている。

「学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方法」

- 1) 本学において、2年以上在学し所定の授業科目を履修し、その単位を修得した者に対し、学長は、教授会の議を経て卒業を認定する。
- 2) 学長は、卒業の認定を受けた者に対し、卒業証書及び本学学位規程に定める短期大学士の学位を授与する。
- 3) 卒業時に必要な単位数は68単位とし、その履修方法は授業科目の区分により、学部共通科目の必修科目を8単位、選択科目を4単位以上、学科専攻科目の必修科目を25単位、選択科目を31単位以上とする。

(2) 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。

1) 短期大学部全体

教育目標に基づく【教育課程編成・実施の方針】を以下のように明示している。

- 建学の精神の意味を深く理解し、高い倫理性を養うために、必須科目である「仏教の思想」(4単位)を開講する。
- 幅広い学問領域について基礎的な知識を身につけるために、人文・社会学系・学際領域系科目からなる教養教育科目を「学部共通科目」として開講し、6単位以上の修得を卒業要件とする。
- 幅広い分野の知識・理解をもとにして、問題に対して多角的な思考、判断を行うことができるようにするために、人文・社会学系・学際領域系科目からなる教養教育科目を「学部共通科目」として開講し、6単位以上の修得を卒業要件とする。
- 外国語による基本的なコミュニケーションができるようにするために、「英語Ⅰ」(2単位)を必修科目として開講する。また、「英語Ⅱ」(2単位)等の科目を選択科目として開講する。
- コンピュータを操作し、情報分析・発信のための基本的なスキルを身につけるために、「情報処理基礎」(2単位)を選択科目として複数クラス開講するとともに、いくつかの必修科目において、パソコンを使ったレポート提出を課す等、コンピュータに触れる機会を設ける。

2) 社会福祉学科

上記の教育目標に基づき、本学としての教育課程編成・実施の方針に加え、社会福祉学科独自の教育課程編成・実施の方針を以下のとおり策定している。

(知識・理解)

- 社会福祉についての基礎的な知識を身につけるために、「社会福祉原論」(4単位)、「社会福祉援助技術総論」(4単位)、「卒業論文」(4単位)を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、社会福祉に関する演習および実習科目を「コース専攻科目」の必修科目として開講する。

(思考・判断)

- 身の生活問題を社会問題の脈絡で考察でき、自分の意見を発表することができるようにするために、「社会福祉原論」(4単位)、「社会福祉援助技術総論」(4単位)、「卒業論文」(4単位)を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、社会福祉に関する演習および実習科目を「コース専攻科目」の必修科目として開講する。

(興味・関心)

- 個人と社会の福祉の向上について、探究心を持ちそれを具体的な課題にできるようにするために、「社会福祉原論」(4単位)、「社会福祉援助技術総論」(4単位)、「卒業論文」(4単位)を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、社会福祉に関する演習および実習科目を「コース専攻科目」の必修科目として開講する。

(態度)

- 市民としての社会的責任を自覚し、協調性を持ちつつ、リーダーシップを発揮しながら、身边から他者の権利回復と連帯をつくっていく姿勢を持つとともに、障がいの意味、老いの意味、死の意味、生命の繋がりについて洞察する姿勢を持つことができるようにするために、「社会福祉原論」(4単位)、「社会福祉援助技術総論」(4単位)、「卒業論文」(4単位)を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、社会福祉に関する演習および実習科目を「コース専攻科目」の必修科目として開講する。

(技能・表現)

- 自ら発見した課題を論理的に分析し、自らの考えを文章で表現し、それをプレゼンテーション・ディスカッションできるようにするとともに、基本的な社会福祉の援助技術を身につけるために、「社会福祉援助技術総論」(4単位)を「学科専攻科目」の必修科目、演習や実習科目を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、社会福祉の援助技術に関連する科目を「学科専攻科目」等の選択科目として開講する。

### 3) こども教育学科

- 建学の精神の意味を深く理解し、高い倫理性を身につけるために、必修科目である「仏教の思想」(4単位)を「学部共通科目」として開講する。
- 幅広い学問領域について基礎的な知識を身につけるために、人文・社会学系・学際領域系科目からなる教養教育科目を「学部共通科目」として開講し、12単位以上の修得を卒業要件とする。
- 保育・幼児教育についての基礎的な知識を身につけるために、「保育原理Ⅰ」(4単位)、「教育原理」(2単位)、「発達心理学Ⅰ」(2単位)、「社会福祉概論」(2単位)、「児童福祉論」(4単位)、「養護原理」(4単位)、「保育内容総論」(1単位)、「保育内容Ⅰ(健康)」(1単位)、「保育内容Ⅰ(人間関係)」(1単位)、「保育内容Ⅰ(環境)」(1単位)、「保育内容Ⅰ(言葉)」(1単位)、「保育内容Ⅰ(表現)」(1単位)、「保育内容Ⅱ(表現)」(1単位)を「学科専攻科目」の必修科目として開講する。

- 幅広い分野の知識・理解をもとにして、問題に対して多角的な思考、判断を行うことができるようにするために、人文・社会学系・学際領域系科目からなる教養教育科目を「学部共通科目」として開講し、12単位以上の修得を卒業要件とする。
- 保育・幼児教育の問題や課題について多面的・多角的に考察でき、自分の意見を発表することができるようにするために、「保育原理Ⅰ」（4単位）、「教育原理」（2単位）、「発達心理学Ⅰ」（2単位）、「社会福祉概論」（2単位）、「児童福祉論」（4単位）、「養護原理」（4単位）を「学科専攻科目」の必修科目として開講する。
- 少子社会における保育や幼児教育について、探究心を持ちそれを具体的な課題にできるようにするために、「保育原理Ⅰ」（4単位）、「教育原理」（2単位）、「発達心理学Ⅰ」（2単位）、「社会福祉概論」（2単位）、「児童福祉論」（4単位）、「養護原理」（4単位）を「学科専攻科目」の必修科目として開講する。
- 市民としての社会的責任を自覚し、協調性を持ちつつ、リーダーシップを発揮しながら、子どもの最善の利益を追究していく姿勢を持つとともに、発達の意味、子ども期固有の意義について洞察する姿勢を持つことができるようにするために、「保育原理Ⅰ」（4単位）、「教育原理」（2単位）、「発達心理学Ⅰ」（2単位）、「社会福祉概論」（2単位）、「児童福祉論」（4単位）、「養護原理」（4単位）、「保育内容総論」（1単位）、「保育内容Ⅰ（健康）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（人間関係）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（環境）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（言葉）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（表現）」（1単位）、「保育内容Ⅱ（表現）」（1単位）を「学科専攻科目」の必修科目として開講する。
- 外国語による基本的なコミュニケーションができるようにするために、「英語Ⅰ」（2単位）を必修科目として開講する。また、「英語Ⅱ」（2単位）等の科目を選択科目として開講する。
- コンピュータを操作し、情報分析・発信のために基本的なスキルを身につけるために、「情報処理基礎」（2単位）を選択科目として複数クラス開講するとともに、いくつかの必修科目において、パソコンを使ったレポート提出を課す等、コンピュータに触れる機会を設ける。
- 自ら発見した課題を論理的に分析し、自らの考えを文章で表現し、それをプレゼンテーション及びディスカッションできるようにするとともに、基本的な保育・幼児教育の技術を身につけるために、「保育内容総論」（1単位）、「保育内容Ⅰ（健康）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（人間関係）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（環境）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（言葉）」（1単位）、「保育内容Ⅰ（表現）」（1単位）、「保育内容Ⅱ（表現）」（1単位）を「学科専攻科目」の必修科目として開講するとともに、保育・幼児教育の技術に関連する演習や実習科目を「学科専攻科目」等の選択科目として開講する。

(3) 教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を短期大学部構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表しているか。

1) 短期大学部全体

年度当初に毎年度発行される『教員用ハンドブック』に本学の教育目標を掲載すること、年度当初の社会福祉学科・こども教育学科合同学科会議等において教育目標を確認することにより、教職員に対する教育目標の周知を図っている（資料 4(1)-1）。

学生に対しては、授業科目履修要項や大学ホームページ等に公表することや、履修説明会、授業等での説明を通して、学生への理念・目的の周知を図っている（資料 4(1)-2,4(1)-3）。

また、教育目標、学位授与方針および教育課程編成・実施の方針を大学ホームページ等に掲載することを通して、受験生や保護者等、社会に公表している。また、教育連携校等の高校に、2006 年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（以下、「現代 GP」という。）「イメージ創成を中心としたキャリア教育」で制作した教育目標の紹介を含むメディア（DVD）を配付するとともに、オープンキャンパスでその視聴の機会を設ける等、入学志願者をはじめとした社会に対して教育目標を公表・周知している。本 DVD は入学直後の学生にも視聴させ、教育目標の周知を図っている。

(4) 教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。

1) 短期大学部全体

以下の 2) および 3) で述べるとおり、学科ごとに教育目標等の適切性に関する定期的検証を実施している。

2) 社会福祉学科

2011 年度より、自己点検・評価を毎年度実施することになり、その中で教育目標、学位授与方針および教育課程編成・実施の方針の適切性についての評価項目が設定されており、短大自己点検・評価委員会を中心に定期的に検証を行っている。

3) こども教育学科

本学科は 2011 年 4 月に新設され、2013 年 3 月末の完成年度の完了までは、文部科学省への設置申請を行った際の「設置の趣旨等を記載した書類」に準拠している。そのため、教育目標等の適切性の検証は、2012 年度中のこども教育学科会議において自己点検・評価委員会を中心に行われ、最終的には教授会への提案、審議、決定という手続きによって進められている。したがって、検証結果を踏まえた教育目標等の変更等は 2013 年度以降に実施する。

## 2. 点検・評価

### ○基準の充足状況

本学の理念・目的を実現するために、教育目標を定め、それに基づき学位授与方針および教育課程編成・実施の方針が明示され、種々の手段により大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されている。

ただし、教育目標、学位授与方針および教育課程編成・実施の方針を、より組織的・計画的に公表・周知していくことが望まれる。

### (1) 効果が上がっている事項

#### 1) 社会福祉学科

教育目標、学位授与方針および教育課程編成・実施の方針は、種々の手段により大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されている。特に、視聴覚メディアの活用等、効果的な周知・公表方法に対する工夫の努力を行っている。また、授業を通して教育目標を学生に周知する取り組みは、教育目標と日常の学修とのつながりを理解させることを意図しており、効果的な方法となりうるものと考えられる。

教育目標、学位授与方針および教育課程編成・実施の方針の適切性についての検証は、2011年度より毎年度自己点検・評価の中で実施されることになり、定期的な検証が行われるシステムを構築している。

#### 2) こども教育学科

教育目標、学位授与方針については、ホームページ等を通して学生や社会に公表するとともに、教職員に対しては、教授会等で周知している。

教育目標および教育課程編成・実施の方針の適切性についての検証は、完成年度が過ぎる次年度に実施する予定である。

### (2) 改善すべき事項

#### 1) 社会福祉学科

学生に対する教育目標の周知については、履修説明会や授業を通して行っている。この周知は、適切な科目、適切なタイミングで行うことが望ましいが、主に担当者各々の判断で行われており、十分に組織的に計画、実施されているわけではない。

#### 2) こども教育学科

本学科における教育目標、学位授与等の諸方針は当面、「設置の趣旨等を記載した書類」への記載に準拠して実施しており、おおむね適切であると判断している。なお、2012年度が学科の完成年度にあっているため、2013年度以降の改革に向けて、2012年度中に短大自己点検・評価委員会の体制を基本としながらも、本学科選出委員を中心にこども教育

学科会議での検証、提案、審議等を行っているところである。

### 3. 将来に向けた発展方策

#### (1) 効果が上がっている事項

##### 1) 社会福祉学科

教育目標の適切性を検証する過程に、学生や卒業生の参加方策についても工夫することで、より効果を伸長させることができるように思われる。2013年度中に教授会、学科会議、コース会議等において検討を行い、2014年度からの実施をめざす。

##### 2) こども教育学科

学科会議の定期的な開催、教員ハンドブック、実習ハンドブック等の活用が、教育目標を適切に実践するために役立っていると思われる。

#### (2) 改善すべき事項

##### 1) 社会福祉学科

授業を通じた学生に対する教育目標の周知に関しては、どの科目、どのタイミングで周知を行うことが望ましいのかを2012年度中に学科会議、コース会議において検討を行い、2013年度からより組織的・計画的に実施する。

##### 2) こども教育学科

2013年4月、つまり本学科の完成年度完了後に向けて、教育目標等の適切性を検証し、迅速な見直しを行う組織的な体制の整備が必要である。具体的には、教務委員を中心にこども教育学科会議を会議体として充実させ、提案・審議・決定について、一層の機能向上を図っていく。

### 4. 根拠資料

4(1)-1 龍谷大学短期大学部 2012年度教員用ハンドブック (既出 資料1-3)

4(1)-2 2012年度 短期大学部授業科目履修要項 (既出 資料1-4)

4(1)-3 ホームページ <http://www.human.ryukoku.ac.jp/> (既出 資料1-6)